

A工法 評価番号 低減係数 α 一覧表

百の位		A-100 大壁 構造用合板 厚 9mm				A-200 大壁 構造用合板 厚 12mm						
十の位		10 半間	30 上下あき半間	60 押入 半間	70 開口	10 半間	20 1間	30 上下あき半間	40 上下あき 1間	60 押入 半間	70 開口	80 開口 1間
一の位	1 裏棧あり	A-111 (A-001) $\alpha=1.0$ 厚 9 @150	A-131 (A-004) $\alpha=0.8$ 厚 9 @150	A-161 (A-005) $\alpha=0.6$ 厚 9 @150								
	2 裏棧あり 間柱なし	A-112 $\alpha=0.8$ 厚 9 @150				A-222 (A-008) $\alpha=0.9$ 厚 12 @100	A-232 $\alpha=1.0$ 厚 12 @100	A-242 (A-009) $\alpha=0.6$ 厚 12 @100				
	3 裏棧なし	A-113 $\alpha=0.7$ 厚 9 @100			A-173 $\alpha=0.6$ 厚 9 @100	A-213 $\alpha=1.0$ 厚 12 @100	A-223 (A-008) $\alpha=0.4$ 厚 12 @100	A-233 (A-004) $\alpha=0.7$ 厚 12 @100		A-263 (A-005) $\alpha=0.35$ 厚 12 @100	A-273 (A-007) $\alpha=0.9$ 厚 12 @100	
	4 補強あり		A-134 (A-003) $\alpha=1.0$ 厚 9 @150								A-274 $\alpha=0.4$ (0.2) 厚 12 @100	A-284 $\alpha=0.3$ 厚 12 @100

百の位		A-300 真壁 構造用合板 厚 9mm				A-400 真壁 構造用合板 厚 12mm						
十の位		10 半間	20 1間	30 上下あき 半間	50 長押 半間	60 押入 半間	10 半間	20 1間	30 上下あき 半間	40 上下あき 1間	50 長押 半間	60 押入 半間
一の位	1 裏棧あり	A-311 (A-001) 厚 9 @150										
	2 裏棧あり 間柱なし	A-312 $\alpha=0.7$ 厚 9 @150						A-422 $\alpha=0.9$ 厚 12 @100		A-442 (A-011) $\alpha=0.6$ 厚 12 @100		
	3 裏棧なし	A-313 $\alpha=0.6$ 厚 9 @100					A-413 $\alpha=1.0$ 厚 12 @100	A-423 (A-010) $\alpha=0.4$ 厚 12 @100	A-433 $\alpha=0.8$ 厚 12 @100			
	4 補強あり			A-334 (A-003) $\alpha=1.0$ 厚 9 @150								
	5 アルミ縦			A-335 $\alpha=0.7$ 厚 9 @100	A-355 $\alpha=0.5$ 厚 9 @100	A-365 $\alpha=0.3$ 厚 9 @100			A-435 (A-006) $\alpha=0.8$ 厚 12 @100		A-455 $\alpha=0.7$ 厚 12 @100	A-465 (A-006) $\alpha=0.4$ 厚 12 @100
	6 アルミ四方	A-316 $\alpha=0.7$ 厚 9 @100	A-326 $\alpha=0.3$ 厚 9 @100						A-426 $\alpha=0.4$ 厚 12 @100			

百の位		A-800 土壁			A-900 筋かい
十の位		10 半間	20 上あき	30 上下あき	10 半間
一の位	1 標準	A-811 (A-012) $\alpha=1.0$	A-821 (A-013) $\alpha=0.5$	A-831 (A-014) $\alpha=0.4$	A-911 (A-002)
	2 1隅欠け	A-812 $\alpha=0.8$	A-822 $\alpha=0.45$		
	3 2隅欠け	A-813 $\alpha=0.6$	4 4隅欠け A-814 $\alpha=0.45$	5 面材補強 A-835 $\alpha=0.6$	

() は、平成 26 年度までの評価番号

α は、標準大壁に対する低減係数
 α は、標準土壁に対する低減係数

標準仕様の壁基準耐力

A-111 標準大壁	5.2 kN/m
A-311 標準真壁	5.0 kN/m
A-811 標準土壁 塗厚	
40~	2.4 kN/m
50~	2.8 kN/m
70~	3.5 kN/m
90~	3.9 kN/m
A-911 二つ割筋かい たすき掛け	6.4 kN/m

A工法一覧表

2017/ 3/ 17

番号	名称	構造用合板					継手受材及び上下受材		四方受材		かさ上げ材	備考
		幅 mm	厚さ mm	釘 種類 間隔 mm	場所	外周 端あき mm	奥行×見付 mm	柱、間柱に対し て、斜め打ち釘 本数-種類	奥行×見付 mm	柱、横架材に 対して、釘 本数-種類		
A-111 (A-001)	構造用合板を用いた在来補強 工法「標準大壁」	縦 910	7.5 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N90				継手受材負 け
A-111カ	A-111の入隅仕様「対象壁勝ち」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度			30×40	N75 @150		
A-111マ	A-111の入隅仕様「対象壁負け」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度			30×40	N75 @150		
A-112	構造用合板補強工法 大壁「間柱なし」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N75				
A-113	構造用合板補強工法 大壁「裏棧なし」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度						
A-131 (A-004)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「上下あき」裏棧あり	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	継手 30×90 上下 90×45	2-N75 2-N75				継手受材負 け
A-134 (A-003)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「かさ上げ」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N75			90×45 N90	継手受材負 け
A-161 (A-005)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「押入」裏棧あり	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	上下受材 90×45	2-N75				継手受材負 け
A-173	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「換気扇」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度						
A-213	構造用合板補強工法 大壁「裏棧なし」	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度						
A-222 (A-008)	構造用合板補強工法 大壁「1間 横使い」裏棧あり	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	30×90	2-N75				
A-223 (A-008)	構造用合板補強工法 大壁「1間 横使い」裏棧なし	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度						
A-232	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「上下あき」間柱なし	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	継手 30×90 上下 90×45	2-N75 2-N75				
A-233 (A-004)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「上下あき」裏棧なし	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	川の字	15 程度						
A-233カ	A-233の入隅仕様「対象壁勝ち」	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	川の字	15 程度			30×40	N75 @150		
A-233マ	A-233の入隅仕様「対象壁負け」	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	川の字	15 程度			30×40	N75 @150		

A-242 (A-009)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「1間上下あき」裏棧あり	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	継手 30×90 上下 90×45	2-N75 2-N75				
A-263 (A-005)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「押入」裏棧なし	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	川の字	15 程度						
A-273 (A-007)	部分開口 構造用合板補強工法 大壁「換気扇」	縦 910	裏棧なし 12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度						開口寸法 370 角以内
A-274	構造用合板補強工法 大壁「腰窓」裏棧あり	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	上下受材 90×45	2-N75	30×40	N75 @150		上下受材勝 ち
A-284	構造用合板補強工法 大壁「1間 腰窓」裏棧あり	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	上下受材 90×45	2-N75	30×40	N75 @150		
A-311 (A-001)	構造用合板を用いた在来補強 工法「標準真壁」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N75	45×45	N75 @150		継手受材負 け
A-312	構造用合板補強工法 真壁「間柱なし」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N75	30×40	N75 @150		継手受材負 け
A-313	構造用合板補強工法 真壁「裏棧なし」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度			30×40	N75 @150		
A-316	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「裏棧なし」アルミ材下地	縦 910	9.0 以上	タッピングビスφ3×L30, 木ビスφ3.8×L32, セルフドリルネジφ4× L30,のいずれか @100	四周	15 程度			アルミアン グル9×40	木ビス φ3.8×L32 @100		
A-326	構造用合板補強工法 真壁「1間 横使い」 アルミ材下地	横 1820	9.0 以上	タッピングビスφ3×L30, 木ビスφ3.8×L32, セルフドリルネジφ4× L30,のいずれか @100	四周	15 程度			アルミアン グル9×40	木ビス φ3.8×L32 @100		
A-334 (A-003)	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「かさ上げ」	縦 910	9.0 以上	N50,CN50 @150	四周	15 程度	30×90	2-N75	45×45	N75 @150	90×45 N90	継手受材負 け
A-335	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「上下あき」アルミ材下地	縦 910	9.0 以上	タッピングビスφ3×L30, 木ビスφ3.8×L32, セルフドリルネジφ4× L30,のいずれか @100	川の字	15 程度			アルミアン グル9×40	木ビス φ3.8×L32 @100		
A-355	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「長押」アルミ材下地	縦 910	9.0 以上	タッピングビスφ3×L30, 木ビスφ3.8×L32, セルフドリルネジφ4× L30,のいずれか @100	川の字	15 程度			アルミアン グル9×40	木ビス φ3.8×L32 @100		
A-365	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「押入」アルミ材下地	縦 910	9.0 以上	タッピングビスφ3×L30, 木ビスφ3.8×L32,	川の字	15 程度			アルミアン グル9×40	木ビス φ3.8×L32		

				セルフドリルネジ φ 4 × L30,のいずれか @100						@100		
A-413	構造用合板補強工法 真壁「裏棧なし」	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度			30×40	N75 @150		
A-422	構造用合板補強工法 真壁「1 間 横使い」裏棧あり間柱なし	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	30×90	2-N90 @200	30×40	N90 @200		
A-423 (A-010)	構造用合板補強工法 真壁「1間 横使い」裏棧なし	横 1820	12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度			30×40	N90 @200		
A-426	構造用合板補強工法 真壁「1間 横使い」 アルミ材下地	横 1820	12.0 以上	タッピングビス φ 3×L30, 木ビス φ 3.8× L 32, セルフドリルネジ φ 4 × L30,のいずれか @100	四周	15 程度			アルミアン グル 9×40	木ビス φ 3.8× L 32 @100		
A-433	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「上下あき」裏棧なし	縦 910	12.0 以上	N50,CN50 @100	川の字	15 程度			30×40	N90 @200		
A-435 (A-006)	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「上下あき」アルミ材下地	縦 910	12.0 以上	タッピングビス φ 3×L30, 木ビス φ 3.8× L 32, セルフドリルネジ φ 4 × L30,のいずれか @100	川の字	15 程度			アルミアン グル 9×40	木ビス φ 3.8× L 32 @100		
A-442 (A-011)	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「1間 上下あき」裏棧あり	横 1820	裏棧あり 12.0 以上	N50,CN50 @100	四周	15 程度	継手 30×90 上下 90×45	2-N75 2-N75	30×40	N90 @200		継手受材負 け
A-455	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「長押」アルミ材下地	縦 910	12.0 以上	タッピングビス φ 3×L30, 木ビス φ 3.8× L 32, セルフドリルネジ φ 4 × L30,のいずれか @100	川の字	15 程度			アルミアン グル 9×40	木ビス φ 3.8× L 32 @100		
A-465 (A-006)	部分開口 構造用合板補強工法 真壁「押入」アルミ材下地	縦 910	12.0 以上	タッピングビス φ 3×L30, 木ビス φ 3.8× L 32, セルフドリルネジ φ 4 × L30,のいずれか @100	川の字	15 程度			アルミアン グル 9×40	木ビス φ 3.8× L 32 @100		

A-811 (A-012)	土壁評価「土壁」											
A-812	土壁評価 土壁「1 隅欠け」											
A-813	土壁評価 土壁「2 隅欠け」											
A-814	土壁評価 土壁「4 隅欠け」											
A-821 (A-013)	部分開口 土壁評価 土壁 「上あき」											
A-822	部分開口 土壁評価 土壁 「上あき 1 隅欠け」											
A-831 (A-014)	部分開口 土壁評価 土壁 「上下あき」											
A-835	部分開口 土壁評価 土壁 「上あき 面材補強」											
A-911 (A-002)	二ツ割り筋かいを用いた 在来補強工法											

構造用合板 釘打ち四周は、間柱、継手受材も含む